



かみのせき 議会だより

2026
1/22

No.173



勇壮な行進（出初式）

令和7年12月定例会

上関町議会のページ ▶



議長新年あいさつ・議案----- P. 2

追加議案・質疑応答----- P. 3

Pick up

常任委員会----- P. 4～5

一般質問----- P. 6～10

議会日誌----- P.11

研修報告・要望・陳情----- P.12

申し入れ・編集後記

謹んで新年のご挨拶を

申し上げます



議長 長和美
岩木

あけましておめでとうござい
ます。

皆様におかれましては、お健
やかに新年をお迎えのこととお
慶び申し上げます。

住民の皆様には平素より町議
会に対するご理解とご協力を賜
り心より厚くお礼申し上げます。

本町では、昨年8月に新たな
地域振興策としての使用済燃料
中間貯蔵施設の調査について

「立地は可能」との報告を受けま
した。今後、事業計画が提出さ
れれば議会においても十分に議
論を尽くしていく所存です。

本町では、財政健全化・少子
高齢化・人口減少など多くの課
題に直面しています。厳しい財

政状況においても住民の生活を
守るための行政サービスについ
ては、できる限り財源を確保し

たうえで私たち議員も町民に寄
り添い「議会活動」「議員活動」

に努め、きめ細やかなまちづく
りに取り組む責務があります。

昨年12月には、上関中学校2
年生が総合的な学習の時間の中
で「上関町をさらによくするた
めには」というテーマで上関町

の特産品である車海老を活用し
た「上関町車海老祭り」を開催
しました。計画段階から（公社）

山口県光・熊毛地区栽培漁業協
会をはじめ多くの関係者のボラ
ンティアのもと約3000人の

参加者で賑わいのある祭りとな
りました。生徒たちの発信力の
強さに頼もしさを感じました。

今年、町議会議員選挙が行
われます。町の課題は多岐にわ
たっています。「住みよいまち

づくり」を執行部・議員が協力
して取り組むことが、さらに求
められる年となることを考えま
す。

本年が皆様にとりまして、健
やかで幸多き年となりますこと
をご祈念申し上げます。

さつといたします。

12月定例会

12月定例会は、12月3日から
12日までの10日間の会期で開催
されました。令和7年度一般会
計および特別会計の補正予算4
件、条例の制定4件、追加議案
8件は原案のとおり可決されま
した。

議案

令和7年度上関町一般会計補
正予算（第5号）は、581万
1000円を追加し、総額36億
8467万4000円とする。

◆主なものとして、歳入では、
子どものための教育・保育給付
費国庫負担金の増額、子どもの
ための教育・保育給付費国庫負
担金の増額、デジタル基盤改革
支援補助負担金・後期高齢者医
療療養給付費負担金還付金の増
額、公共施設建設基金繰入金の
減額、町債の増・減額。歳出で
は、総務費の基幹系システム標
準化対応委託金の増額、民生費

の保育所委託料の増額、農林水
産費の水産物供給基盤機能保全
事業の見送りによる負担金の減
額、商工費の温泉施設機器取替
工事請負費の増額など。

条例の制定

◆上関町任期付町費負担教職員
の任用、給与等に関する条例の
一部を改正する条例の制定につ
いて

・教職調整額の支給率、義務教
育等教員特別手当額を変更す
る必要が生じたため。

◆上関町災害弔慰金の支給等に
関する条例の一部を改正する条
例の制定について

・災害弔慰金の支給等に関する
法律及び災害弔慰金の支給等
に関する法律施行令の改正に
伴い、災害援護資金の償還免
除の要件を追加する等、条例
の一部を改正する必要が出た
ため。

◆上関町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

・児童福祉法の規定に基づき、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、同令に従い放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する必要があるため。

◆上関町放課後児童クラブ条例の制定について

追加議案

◆上関町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

・山口県の給与改正に伴い、これに準じて上関町一般職の職員等の給与を改正するため。

◆令和7年度上関町一般会計予算(第6号)は、97万7000円を追加し、総額36億8565

万1000円とする。

質疑 応答

山戸孝 議員

今回、上関海峡温泉ポンプ取替工事などの費用を基金からではなく一般財源から支出する理由は。

磯辺 産業観光課長

基金は、使う際に手続きに日数がかかる。今回緊急的に必要のため一般財源から支出した。

山戸孝 議員

基金だけでなく一般財源からも修繕費を支出すると全体の修繕費が見えにくい。温泉に係る費用全体を議会に説明するように。

西 町長

収支は、議会で申し上げている。早急な措置の場合は、やむなく一般財源を計上している。

山戸孝 議員

上関町放課後児童クラブの開設について①現在、放課後子ども教室に通っている児童が通えなくなることはないか。②平日

および長期休暇中の開催時間に変更はないか。③保護者の費用負担は。④運営体制は。⑤現在、働いている方の今後の処遇は。

中原 保健福祉課長

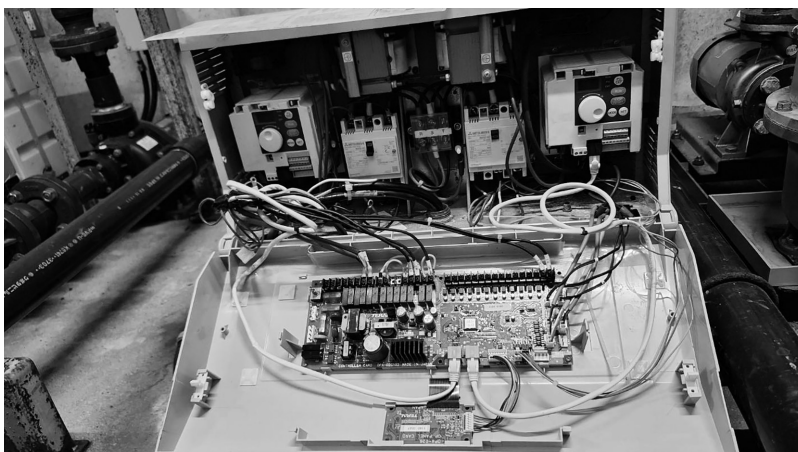
①現在放課後子ども教室に通っている要件で待機児童が出ないように、それ以外でも町長が認めたものは利用できると規則で定めている。②利用時間は、授業を行う平日は、下校時から18時30分まで、長期休暇中は延長保育も含め7時30分から利用できる。③利用料は無料、保険料とおやつ代などは別途徴収。④保健福祉課と教育委員会と地域協育ネットが共同して運営主体となる。⑤現在有償ボランティアで勤務されている方は、会計年度任用職員として募集する。また新たな人員の募集もする。

山戸孝 議員

近隣の自治体では、保護者負担が年間5〜6万円程度。上関は、保護者負担が少ない。子育て支援としてアピールするべき。

西 町長

子育て支援、定住対策につながるものとして取り組んでいる。町の広報等を通じて周知する。



交換するポンプ制御盤（上関海峡温泉）

Pick UP

○上関海峡温泉ポンプ制御盤取替工事・上関海峡温泉電動弁取替工事292万円

総務文教常任委員会

総務関係

重点支援交付金によるお米券について

問 上関町としてどういう現状か。

答 町内でお米券が扱える事業者がいらない可能性があり、商品券も含めて、お米券に代わる支援策を検討中。なるべく早く情報公開したい。

地域猫の対応

問 地域猫の餌やりで迷惑を受ける方が多い。苦情を受ける機関の住民周知は。

答 柳井保健所に確認し、ホームページ・広報などで周知する。

スマホ教室

問 利用状況と利用者数は。

答 ソフトバンクの車でのスマホ教室については、84人の枠で14名。地域おこし協力隊のスマホ相談コーナーは1日5名程度。



スマホ教室

中間貯蔵施設について

問 町独自で調査機関にデータの分析・解析はしないのか。

答 最終的には規制委員会がチェックして判断される。

人口の推計について

問 地区別の人口推計について進捗は。

答 各地区の今後45年間の人口推計は出ており、報告書待ち。原子力発電が来た場合の条件設定は検討中。

文教関係

学校体育館のエアコン設置

問 エアコン設置の計画はあるか。

答 上関小・中学校体育館での設置を検討中。

祝島小学校の支援は

問 祝島小学校の給食施設は検討しているか。

答 現時点では考えていない。今後については課内および町で検討。

問 8月の祝島の保護者説明会後の進捗は。

答 職員室の移設をメインに検討中。今後協議し、保護者にも説明していきたい。

車海老祭り

問 来場者から好評だったが、今後の展開は。

答 中学校の総合的な学習の中で継続するかどうかは、今後協議していく。



中学生が企画・運営した車海老祭り

産業厚生常任委員会

厚生関係

「放課後子ども教室」を
「放課後児童クラブ」と一体化に

- 問「放課後子ども教室」はこれまでもあった。「放課後児童クラブ」はどう違うのか。
- 答「放課後子ども教室」は文部科学省、「放課後児童クラブ」は子ども家庭庁の所管になる。現在開設されている「放課後子ども教室」の実態は、「放課後児童クラブ」の要素が多いということで、「放課後子ども教室」は長期休暇中の体験教室として残して、「放課後児童クラブ」と一体化して令和8年度からスタートしていきたい。
- 問なぜ一体化するのか。メリットはあるのか。
- 答国において一体化が進められており、また補助金の関係もあって、実態が児童クラブの要素が強いのであればこの機会に変えていったほうが良い、という判断。
- 問組織図の変更や予算の見通しは。
- 答子ども教室は有償ボランティアで運営していたが、児童クラブでは放課後児童支援員と放課後児童補助員として、会計年度任用職員に登録し運営をしていく。人件費については単価が高い分、増額になると思うが、こども子育て支援交付金が充てられ、国・県・町がそれぞれ3分の1の負担となるので今までの補助額よりは増額になるのではないかと。



みんなでカレーを作ったよ！（放課後子ども教室）

産業関係

上関海峡温泉の修繕工事について

- 問上関海峡温泉の修繕工事の内容は。この工事による休館はあるのか。
- 答お風呂の湯張りポンプの制御盤が故障し、現在手動で作業している。また他にも経年劣化による不具合などあり、その交換工事をする。月に1度の定期休館の日に工事を行う予定。
- 問今年度、温泉の井戸坑内調査をした際に、塩分と鉄分が多く錆がつきやすい泉質とのことだったが、あらためて説明を。
- 答6月に井戸の坑内調査を行い、スケール（湯の花）がついている地点があった。ポンプを井戸から出し入れする際に障害になるため修理を行うか検討しているが、塩分と鉄分が多いということで井戸の状態があまりよくない状況。

技術職職員、人材不足の対応は

- 問全国的に技術職が不足していると聞くが。
- 答町では事務職員として入庁した中から適性がある方が技術職を務めているが、中途での採用もある。今後も同様の形での対応となるが、人数としてはあと数人ほしいというのが現状。

町で観光ビジョンを策定するのか

- 問周防大島では観光ビジョンの策定に取り組んでいるとのこと。本町でも総合計画策定時に観光客数の調査などをしたと思うが今後、観光ビジョンの作成はするのか。
- 答観光客数についてはイベントごとに観光客数は出しており、道の駅や温泉でもカウントしているので、観光客数はおおよそ把握できていると思う。どこから来ているか、については一昨年調べたことがあり、桜まつりだと県の中中部から東部にかけて、また広島県の西部から多くの方が来られているという結果は出ている。観光ビジョンについては、ビッグデータ等も活用しながら、予算をとって作成したほうが良いということになれば作成したい。

一般質問

12月定例会

8人の議員が10件の質問をしました。

- 中間貯蔵施設について
- 桜まつりなど、地域のイベントについて
- 風力発電、今後の見通しは
- 財源の確保は など



山村 泰志 議員

問

中間貯蔵施設の導入について町長の英断を願う

答

結論を急ぐのではなく
住民合意が大切

質問

中間貯蔵の導入は、上関町からの地域振興策としての要請に対し、中国電力が中間貯蔵施設を提案し、立地可能性調査を実施した。立地は可能との判断が報告された。町は是非の判断が事業計画の提示があり次第、内

容を執行部や議会において確認し把握することが先決だとした。その事を踏まえ、最終的な判断は議会を尊重し町長が判断すべきと考える。町として速やかに賢明な決断をするうえでも、町長の英断を願う。

町長答弁

町は新たな地域振興策として、中間貯蔵施設建設の調査・検討を受け入れ、中国電力は調査を行い、立地は可能との報告があった。しかし、事業計画の詳細は示されておらず、議会で議論する段階に至っていない。住民への説明や議論・協議した後の判断は、議会の意見を尊重するという立場は変わらない。確か

に、立ち止まり続けるわけにはいかない。ただ、結論を急ぐより、一定の住民合意も大切と考える。

問

坂田家の運用について

答

地域コミュニティスペースとし憩いの場、賑わいの場になれば

質問

坂田家は、歴史的・文化的・芸術的・学術的な価値だけでなく地域の誇りであり将来世代への継承という点でも重要。文化財は、過去から受け継がれてきた大切な財産であり、町民共有の財産として守り、未来へ継承していく必要がある。文化財の価値を適切に判断するには、専門分野における深い知識と経験が必要。文化財保護審議委員会などの有識者会議を開催し、貴重な文化財である坂田家を保護運用していただきたい。

町長答弁

長島地区にある「坂田家」は、約200年前に建造された歴史ある建造物であり、江戸時代の商家の佇まいが今も残っている。親族より「可能であれば町で引き取っていただきたい」との申し出があり、協議の結果、町が譲り受けることとした。この坂田家を文化財に、との提案だが、文化財の登録・保存には多額の修繕費や維持管理費が必要となる。現在、役場職員による庁内連携会議において、地域のコミュニティスペースとしての活用を検討している。



坂 田 家



古泉 直紀 議員

問 中間貯蔵施設に係る
今後の対応は

答 総合的に判断し
一歩ずつ前に進めていく

質問

8月29日に中国電力が当町に報告した中間貯蔵施設に係る立地可能性調査について、町長は報告書の受領に際して「確認して精査していきたい」と応じられた。これまでに町長はどのような確認・精査をされたのか。また「今後、町民または町議会として早期に事業計画を提示するよう求めるべき」との質問に対し、町長は「まずは調査結果の内容の精査。次に事業計画の提示を求めていく」とお応えいただいた。具体的な内容の提示を求める。

町長答弁

他の中間貯蔵施設と同じ調査内容か、調査手法は適切か確かめた。執行部への説明会においても、職員から多くの質問が出され、その質疑応答を通じて施設の知見が深まった。結果として、次の段階に進むための基礎として妥当と受け止める。事業計画が示されれば、施設の安全性・地域振興への貢献・将来の財政への影響を踏まえ総合的に判断する。議論を急ぐのではなく、一歩ずつ前に進めていく。



リサイクル燃料貯蔵株式会社視察

問 桜まつりなど地域の
イベントについて

答 関係団体と協力しながら
意欲的な人材を組み入れる

質問

地域の賑わいや交流の場として、桜まつりなどのイベントは大変重要な取り組みである。より多くの方に楽しんでいただけるイベントにするために今後の方向性について伺う。①観光振興や地域活性化の観点からどのように発展させていきたいと考えているか。②若い世代や地域団体の参加の促進、協力しやすい企画運営体制の整備など、より多くの人がかわりやすくなるための工夫についてのお考えは。



右田千賀子 議員

町長答弁

①現在水車まつり・桜まつり・愛ランドフェアの3つのイベントが観光振興の柱となっている。より地域に還元でき、来場者が飽きない新鮮なイベントになるよう、関係団体と協力しながら進める。先日行われた車海老祭りやゆうやけマラソン大会など、新たなイベントが開かれ、さらなる観光発展も期待できる。②これまでの枠組みにとらわれず、イベントに対して意欲的な人材を取り入れることが重要。各所から協力をいただける機能的な組織づくりを進めていきたい。



実行委員会の様子



柏田 真一 議員

問 高等学校生徒に対する補助金制度について

答 保護者の負担軽減に向けた取り組みを検討する

質問

令和8年度からの高校再編統合に伴い、当町から高等学校等に通学するにはバスに加え、電車利用も多くなると考えられる。生徒数の減少や定住対策の観点から、現状のバス通学定期券の半額助成をバス・電車通学定期券の全額助成へ変更していただけないか。また、令和8年度入学時から公立高校ではタブレット端末購入費が保護者負担となるため、新たにタブレット端末購入費助成を考えていただけないか。

町長答弁

当町では、高等学校生徒補助金として、町内在住の高校生に対し、防長バスの上関・柳井間の通学定期の半額助成を行っている。当初は、熊毛郡および柳井市へ通学を想定していたが、現在では周防大島、徳山方面へ通学される生徒さんもおられ、電車を利用される方が増えたことから、電車通学の助成も検討する必要があると考える。タブレットに関して令和8年度より保護者負担となっており、負担軽減に向けて補助を検討する。

問 中間貯蔵施設建設の判断は

答 2月の議員選挙は判断材料として大変重要

質問

中国電力(株)から提案のあった中間貯蔵施設の設置に向けた調査・検討について町長は受け入れの判断をし、今年の8月29日には中国電力(株)から調査結果は適地であるとの報告があったが、事業計画はまだ提示されていない。事業計画の提示がない状

町長答弁

事業計画が示されない状況で、2月の町議会選挙の結果が、中間貯蔵施設の判断をする根拠となるのか、とのお尋ねだが、当然、この選挙戦が判断材料の一つになると思っている。中間貯蔵の話が持ち上がって以降、初めての町内における地方選挙。そのためにも、住民の代表である議員を決める選挙は大変重要だと考えている。事業計画の提示の時期は未定だが、議会の意向を尊重し、しっかりと判断したいと思う。

山口県教育委員会からの大切なお知らせ

令和7年11月

令和8年度に、県立高等学校（通信制を除く）に進学される皆様へ
下関中等教育学校後期課程に進級される皆様へ

県立高等学校への進学、中等教育学校後期課程への進級に際して、
購入いただく県指定の学習用端末が決定しました。

■ASUS BR1204F(Wi-Fi モデル)

メーカー	ASUS (エイサース)
OS	Windows 11 Pro Education
CPU	Intel N150
ストレージ	128GB
メモリ	8GB
画面サイズ	12.2インチ(タッチパネル、1,920×1,200ドット)
重量	1.46kg
主な付属品	ACアダプタ

※本体にタッチペン付属しません。



専用のECサイトでの販売価格

36,293円(税込み)

本体価格 54,439円から、県による購入費補助 18,146円を差し引いた価格です。
販売業者：株式会社大塚商会

■購入について

3月中旬 進学先決定後、進学先から購入のための専用ECサイトをお知らせします。

専用ECサイトで購入手続きを行います。

支払い方法：クレジットカード、コンビニ払い、D払い、あと払い決済
※あと払い決済は4回払いまで分割手数料無料

4月末予定 進学先の学校に購入した端末が届きます。



■Q & A

※県立特別支援学校高等部については、裏面でご確認ください。

Q 購入費の支援制度について、教えてください。

A 全世帯を対象として、本体価格の3分の1の購入費補助をいたします。専用ECサイトにおいては、本体価格から補助金相当額を差し引いた価格(36,293円)で購入いただけます。
端末を購入いただいた後、住民税課課税世帯には、別途、購入費の補助金(36,293円)を交付する予定です。交付の手続きについては、入学後にご案内します。

Q 端末が故障したときは、個人負担になりますか。

A そのとおりです。端末本体には、1年間のメーカー保証が付属していますが、自然故障や初期不良、過剰使用において発生した不具合のみ保証対象となります。専用ECサイトにおいて、端末本体と併せて、より保証内容が充実している長期保証への加入が可能ですので、ぜひ、ご確認ください。
長期保証(端末と保証金)
3年：11,517円、4年：15,752円、5年：19,800円
保証対象(A/Cアダプタ含む)：自然故障、物理、盗難、水漏れ・汚損、水害、火災

Q 学習に必要なアプリやサービスに費用はかかりますか。

A 学校生活に必要な最低限のMicrosoft 365 (Word、Excel、Teams等)やグラフィックツールのCanva Educationについては、県が一括して契約するため、在学中に限り無料で利用することができます。
その他、進学先の学校が独自で採用するアプリやサービスには、別に費用がかかることがあります。

お問合せ先 教育庁教育情報化推進企画課 電話 083-933-4493 問合せ用フォーム

〒753-8501 山口市港町1-1 山口県庁15階

山口県教育委員会

保護者負担となる学習用端末



山戸 孝 議員

問
中間貯蔵施設計画、「民意」
に向き合う姿勢を

答
町民に向き合う責任に
ついてはその通りだが

質問

町長が本心から住民の分断を生むことを望まないのであれば、今すぐ中間貯蔵施設の計画を拒否するべきではないか。今の町長の姿勢や進め方は「民意」に正面から向き合っていると考えるか。事業者任せにせず、町民アンケートなどで今の町民の考えを具体的に把握する努力をするべきではないか。また町民へのアプローチが説明会しかないというのはいさぎに一方通行だ。説明会以外の双方向性のあるアプローチが必要だと考えないか。

町長答弁

賛否があるのは承知しているが、調査を了承したのは地域振興策となり得るかどうかの判断材料とするため。前のめりになるつもりはないが、立ち止まるわけにもいかない。これまでの説明や行動が十分に伝わっていないと感じることもある。中立の立場を守りながら住民理解を前提に丁寧に進めていく。住民に直接アンケートを取ることは考えていないが、町民に向き合う責任についてはその通り。町としては事業者情報発信を工夫するなど要請したい。

問
風力発電事業
厳しい状況だが今後の見通しは

答
予定通りの年間発電量が
維持できれば

質問

町の風力発電事業について、厳しい状況が続いている。当初は順調に稼働し町財政にも寄与していたが、その後、発電事業の収入を一般会計へ繰り入れることが難しい状況になっていく。今後支出が大きくなると町財政へマイナスの影響が出てしまう。風力発電事業の現状と、



上盛山の風車

町長答弁

今後の見通しは。また運転終了後の解体などを考えれば、基金の残高も確保しておく必要性がある。解体などに必要な金額の見込みは。

風力発電事業は平成31年4月に運転開始し、令和6年度末までの歳入合計額が約14億5000万円、歳出の合計額が約13億3000万円。一般会計への操出金が1億6000万円。解体費用の見込みは約3億円で、基金残高は今年度末に約1億5000万円の見込み。保守・修繕費の増や、風況のばらつきにより一般会計への繰り出しが困難な年もあるが、令和9年度に起債償還の一部が完了することから、以降の歳出が抑えられる見込み。今後、予定通りの年間発電量が維持できれば操出金も基金残高も確保できると考えている。



海下竜一郎 議員

問 財源の確保は

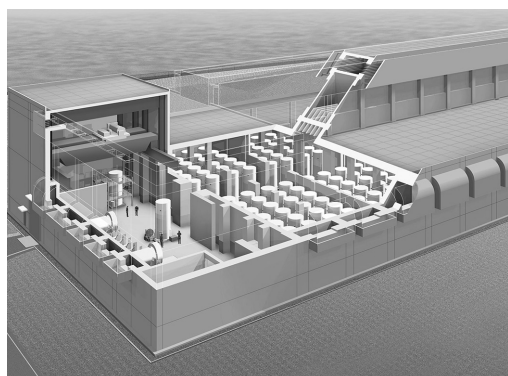
答 中間貯蔵施設は新たな財源確保策になると考える

質問

町税は、歳入の5・3%の1億8257万4000円、歳入の52・8%を占める普通交付税は、令和7年度では0・3%減少。人口減少に伴い、来年度以降大きな減少が予想される。経常収支比率も前年度に対し悪化している。財政調整基金においても、今年度1億836万円の取り崩しを行い、今年度末の残高が9億3199万円となる。このままの状態が続くと町の財政は硬直化し、存続が危うい状態。これを脱却するために財源の確保に向けた考えは。

町長答弁

財政状況は厳しいが、住民負担の増やサービスの低下は避けたい。歳入では町税や使用料の確保、国・県支出金の積極的な活用、地方債の慎重な活用。歳出では人口規模に見合った公共施設の配置や適切な管理、既存事業の断続的な見直し、第3セクターや福祉法人の見直しがあるが、これらの対策だけで財政は改善されない。中間貯蔵施設の計画は、厳しい財政状況を改善するための重要な施策。住民の生活を守るための新たな財源確保になると考える。



中間貯蔵施設イメージ
提供：リサイクル燃料貯蔵（株）

問

本町はどれほど経営感覚を持てているか



秋山 鈴明 議員

答 行政における経営感覚は、単なる効率化に留まらず、住民に寄り添い、地域の持続可能性を高めるか、という視点が重要になってくると思う

問

財源確保に向けた取り組みについて



清水 康博 議員

答 人口流出の防止は喫緊の課題であり、移住・定住促進と人材不足・少子化の解消を図る支援策を盛り込んだ事業を整備している



庁舎内2階

議会活動報告（令和7年9月22日～令和7年12月12日）

月日	内容（場所・出席者・参加者）
9月22日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
9月25日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
9月26日	例月出納検査（海下）
9月29日	柳井地区広域消防組合第2回臨時会（柳井市：海下）
9月30日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
〃	県議会議長会臨時会・県離島議会議長会臨時会（山口市：岩木）
10月6日	柳井地域広域市町議会議長会臨時会（柳井市：岩木）
〃	柳井地域広域水道企業団管内視察（弥栄ダム）柳井広域：山戸
10月7日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・山戸）
10月10日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
10月14日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
10月16日	議会広報委員会（山谷・海下・古泉・右田・山戸）
10月17日	熊毛郡町議会議員合同研修大会（田布施町：全議員）
10月27日	例月出納検査（海下）
10月29日 〃 30日	離島振興市町村議会議長全国大会（東京：岩木）

月日	内容（場所・出席者・参加者）
11月6日	郡広報委員視察研修（広島県坂町：山谷・海下・古泉・右田・山戸）
11月7日	山口県町議会議長会定例会（山口市：岩木）
11月10日	全国原子力発電所立地地域協議会（東京都：岩木）
11月12日	町村議会議長全国大会（東京都：岩木）
11月25日	例月出納検査（海下）
〃	議会運営委員会（山村・右田・海下・古泉・山戸）
11月26日 〃 28日	青森県内原子力関係施設視察研修 （岩木・山谷・海下・柏田・古泉・右田・山戸）
12月3日	第4回定例会本会議（岩木・山谷・海下・柏田・古泉・右田・山村）
12月4日	全員協議会（全議員）
12月8日	産業厚生常任委員会（山戸・山村・秋山・海下・山谷）
〃	総務文教常任委員会（右田・古泉・岩木・柏田・清水）
12月11日	第4回定例会本会議（全議員）
12月12日	第4回定例会本会議（全議員）
〃	全員協議会（全議員）
〃	議会運営委員会（山村・右田・海下・古泉・山戸）

熊毛郡広報視察研修

11月6日、熊毛郡合同広報委員会は広島県坂町へ研修に行きました。坂町では広報誌は議会後の次の月の1日の発行とするようです。行程と編集作業については、まずAI議事録・音声・答弁書・通告書のデータを各自のパソコンに入力し、ワードデータで記事、作業を行い作成を行う。業者はワードデータを抽出し編集ソフトで議会データを作成、発行へと進めるとのこと。我が町と比べると1歩も2歩も先へ進んでいると感じました。今後、上関町議会も一層の努力を重ねていく必要性を感じた研修でありました。



坂町での研修

熊毛郡議会合同研修会（田布施町）

10月17日、田布施町において熊毛郡議会合同研修会が開催され、「生活交通の促進」と題し、山口県地域交通班、主幹南部聡氏より講演をいただきました。



田布施町保健センター

明けましておめでとう
ございます
今年もよろしくお願ひ
致します

議員一同

要望

令和8年度商工助成に係る要望
上関町商工会会長 濱田憲昭

陳情

伊方原発廃炉についての陳情
伊方から原発をなくす会
代表 近藤亨子

申し入れ

関西電力等が検討している使用済み核燃料中間貯蔵施設について 上関に原子力発電施設はいらない兵庫の会

編集後記

穏やかな静寂の中、輝くうらかな日の出の元旦を迎えた。午年はエネルギーで飛躍の年と言われている。企業誘致を決議して40数年が経過したが、未だ立地には至っておらず、当時の計画とは程遠く過疎・少子高齢化は進む一方で今では新生児は年に1〜2人しか誕生しない町になってしまった。今年こそ干支にあやかり、方向をしっかりと見定め前進し、町民の皆さんが安心して暮らせる町、バランスのとれた町になることを願っている。広報委員は、今回で最後の広報誌づくりとなり、3月からは新たな委員での制作となります。ご愛読ありがとうございます。

聴取委員会
広報特別調査

委員長 山谷 良数
副委員長 海下竜一郎
委員 古泉 直紀
右田千賀子
山戸 孝

発行責任者／議会議長 岩本和美

〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 448

TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-1600

編集／議会広報広聴調査特別委員会

印刷所／中村印刷株式会社